



秋の夜長 会話を大切に

朝夕はめっきり涼しくなり、日に日に秋が深まりを感じます。二学期は分散登校での開始となりました。保護者の皆様、地域の皆様に支えていただき、事故等なく分散登校を終えることができました。家庭での学習にもご協力いただき、ありがとうございます。来週4日から通常の授業に戻ります。子供たちがようやく全員揃い、様々な教育活動ができるようになることを教師一同とても喜んでおります。しかし、依然としてコロナウィルス感染症の収束にはまだ程遠い状況です。学校でも変わらず徹底した感染防止対策を継続しながら、教育活動を進めてまいります。ご家庭におかれましても引き続きお子様の健康管理に気をつけていただくと共に、お子様の心の状態についてもいつも以上に意識していただければと思います。少しずつ以前の様子に近づき、元気を取り戻しているようにみえるかもしれませんが、長期にわたるコロナウィルス感染症への対応で子供たちが受けているダメージは計り知れません。「思い切り遊べない」「できるはずだった学校行事ができなかったり縮小されたりする」「今までのような学習活動ができない」「学習は大丈夫だろうか」など、表面には出さずに我慢し、抑え込んでいる感情や不安もたくさんあるのではないかと思います。コロナ禍で外出を控えている今、ご家庭でお子様と会話の機会が多いのではないのでしょうか。お子様と話していて、気になることがあれば、遠慮なく学校までお知らせください。学校側といたしましても子供たちの機微には心がけていますが、保護者の方だからこそ話せる話題もあるかと思えます。学校と家庭との連携を大切に、子供たちが心身ともに元気いっぱい学校生活を送れるよう努めてまいります。よろしく願いいたします。



ICT教育と情報モラルについて

一人一台の学習用コンピュータが導入され、急速にICT教育が進んでいます。分散登校の期間には、試験的運用として授業の様子を家庭で見ることや、高学年では午後の登校グループの人たちでも朝の会にオンラインで参加することなどができました。授業内では調べ学習やカメラ・動画機能の使用、意見交流や情報の共有など幅広く活用しています。今後は、プログラミング学習にも挑戦していきます。学習用コンピュータは今後、教科書と同じように学習ツールとして、家庭に持ち帰るようになります。しかし、ネットにつながる学習用コンピュータは学習にとっても役立つものではありませんが、使い方を間違えるとたくさんの危険につながります。学校では、正しい使い方を繰り返し指導しています。また、配布した学習用コンピュータには時間制限や閲覧制限をかけ、子ども同士の書き込みやGoogle Meetにつながらないよう担任が使用する時だけつながるような設定をしています。IDやパスワードの大切さも伝えており、学校ではパスワードを記録した用紙は書庫にて厳重に保管しています。Google Classroomには、教職員が定期的に入り確認も行います。また、ネットの活用履歴もわかるようになっています。このような安全対策を行ってはおりますが、ネット検索は自由にできてしまう状況もあり、犯罪に巻き込まれてしまう可能性もあります。そのため、何よりも一人一人の正しく使用するという意識が大切となります。ぜひご家庭でも学習用に借りているコンピュータであることへの理解を促し、使い方を一緒に確認していただけたらと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

